

実学の精神を未来へ－AI時代に挑む帝京平成大学の新たな歩み－

帝京平成大学は開学以来、建学の精神である「実学の精神」のもと、医療・健康・教育・経営・情報などの幅広い分野で、高度な専門性と豊かな人間性を備えた人材を育成し、社会の発展に貢献してきました。

我が国は今、急速な少子化、人口減少、産業構造の変化、グローバル化に加え、AI等のデジタル技術の飛躍的発展など、未曾有の変革期を迎えています。これに伴い高等教育機関には変化に適応するだけでなく、自ら課題を発見し、多様な人々と協働して新たな価値を創造できる人材の育成がこれまで以上に求められています。こうした社会的要請に応えるため、このたび「2026～2030 年度中期計画」を策定しました。本計画は、建学の精神を継承しつつ、次代を担う大学として持続的な発展を実現するための指針となるものです。

この計画を通じて本学は、実践的な専門教育と AI 等の先端技術活用を融合し、学生の情報活用能力と課題解決力を一層高める教育を推進するとともに、研究活動や大学運営にも先端技術を積極的に導入し、その活性化と高度化を図ります。また、地域社会、産業界、医療機関等との連携を強化し、学生が実社会とつながって学ぶ機会を一層拡充します。各部門が実施計画を明確化し、その着実な実行を通じて目標達成に尽力してまいります。

2026 年 6 月 帝京平成大学 学長 沖永 寛子

帝京平成大学中期計画（2026－2030年度）

I. 教育の質向上

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	実学教育の推進	1	実学教育を体系的に発展させ、変化する社会において活躍できる実践的人材を育成する。	1	社会のニーズや国際化・多様化の進展を踏まえた教育プログラムの整備を推進する。
				2	キャリア教育の充実を通じて、学生の主体的なキャリア形成を支援する。
				3	全学でAI（生成AI）を前提とした実学教育を実現する。
2	学修者本位の教育	1	学生一人ひとりの主体的・探究的な学びを実現するとともに、学修成果の可視化と質保証を通じて教育の高度化を図る。	1	多様で柔軟な学修機会の提供と教育DXの活用により、主体的・探究的な学びを支援する。
				2	学修成果の可視化を推進し、教育の質保証を強化する。
				3	Society5.0に対応した情報リテラシー、データ活用、生成AIを基礎とした情報教育を推進する。
				4	通信教育課程におけるデジタル教育コンテンツの充実を図り、学修の質と継続性を向上させる。
				5	国家試験ごとにAI教材、弱点診断、個別学修計画を整備し、教育成果の最大化と国家試験合格率の向上を図る。
				6	学生向けにAI（生成AI）の基礎講座および応用講座を扱う短期講座を整備し、社会課題解決などの実学教育を推進する。
3	教育力・指導力の向上	1	教員の教育力・指導力の向上を通じて教育の質を高め、学生の学修成果の向上を図る。	1	教員一人ひとりの教育実践の振り返りと教育力の向上を促進する。
				2	教育方法の改善を継続的に実施し、学生の学修成果の向上と教育の質の高度化につなげる。
				3	教職員向けにAI（生成AI）の基礎講座および応用講座を扱う短期講座を整備し、講義や実習におけるAI（生成AI）の活用方法を学び実践する。
4	教育環境の整備	1	学修者本位の教育を支える教育環境を整備し、主体的・自律的な学修を促進するとともに、持続可能で多様な学修ニーズに対応した環境を実現する。	1	デジタル技術を活用した学修支援環境を整備し、主体的・自律的な学修を促進する。
				2	学修歴のデジタル化を推進するとともに、著作権に関する理解を教職員及び学生に浸透させる。
				3	デジタル・ライブラリーとしての役割を果たせる環境を整備する。
				4	新校舎の整備及び既存施設の改修を推進するとともに、多様な学修ニーズに対応した教育環境を整備する。
5	リカレント教育の推進	1	社会人の学び直しを支援し、生涯学習機能の充実を通じて社会人受け入れの拡大を図る。	1	社会人学生が学びやすい環境を整備し、働きながら学べる大学としての魅力の向上と発信を行う。

Ⅱ．学生支援

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	学生支援の充実	1	学生が安心・安全なキャンパスライフを送れるように支援体制を強化する。	1	心身に問題を抱えた学生に対する相談体制を充実させる。
				2	経済的事情により修学の継続が困難である学生に対する支援を充実させる。
				3	多様な背景を持った学生への修学支援を充実させる。
2	就職支援の充実	1	学生一人ひとりの自己理解の深化と納得感のある進路選択のために、質の高い支援体制と環境整備を強化する。	1	採用市場の変化やDX・AI推進を見据えた支援体制の強化・高度化を図る。
				2	大学院生（特に博士課程）を対象に、相談体制の整備と産業界とのマッチング支援を推進する。
				3	多様な背景をもった学生への就職支援体制を強化する。
		2	地域・企業との連携によるキャリア形成環境の構築を図る。	1	継続的な企業訪問や交流を通じて企業との接点を増やし、企業とのマッチング機会を充実させることで、進路選択の幅を広げる。
				2	学生・卒業生・企業からのフィードバック分析や企業との意見交換を通じて、就職支援や教育改善に活用する。
3	強化指定部活動の充実	1	強化指定部に所属する学生に対し、安全安心を確保した環境を整備する。	1	強化指定部学生が安全安心に活動に取り組める体制整備とコンプライアンス教育を推進する。
		2	強化指定部活動のブランド力を高める。	1	多様なメディアを活用した強化指定部活動の広報を展開する。
				2	地域に愛される部活動を目指し、地域に根差した活動を通じて社会に広く貢献する。

Ⅲ. 研究力の向上

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	研究の充実	1	本学の強みと特色を活かした研究活動を戦略的に推進し、社会課題の解決に資する研究力の向上を図る。	1	全学的かつ組織横断的な研究活動の推進体制を強化する。
				2	社会のニーズを踏まえた研究計画の継続的な見直しを推進する。
				3	研究IR機能を強化し、データに基づく戦略的な研究推進を図る。
				4	研究におけるAI（生成AI）を活用する。
2	研究基盤の強化	1	研究支援体制及び研究基盤の高度化を図り、持続的かつ発展的な研究環境を整備する。	1	研究支援人材（URA等）の育成・確保を推進し、研究マネジメント機能の強化を図る。
				2	研究倫理、コンプライアンス及び研究インテグリティに関する教育を継続的に実施する。
				3	研究DX及びオープンアクセスの推進により、研究成果の公開と学内外連携の強化を図る。
				4	研究設備・機器の整備及び共同利用体制の構築を推進し、共同研究の促進を図る。
3	研究者支援	1	多様な研究者が活躍できる環境を整備し、研究活動の活性化と持続的な発展を推進する。	1	研究者の研究時間確保に向け、パイアウト制度の活用を推進する。
				2	若手研究者及び女性研究者の育成・活躍支援を推進する。
				3	国際的な研究ネットワークの形成を推進し、研究活動の国際化を図る
				4	大学院生（特に博士課程学生）の研究支援及びキャリア形成支援を推進する。
4	研究資金の確保と配分	1	外部研究資金の継続的な獲得と多様化を図り、安定的な研究資金基盤を確立する。	1	競争的研究資金への応募支援を強化し、採択数及び獲得額の向上を図る。
				2	学内研究費の戦略的配分を推進し、重点分野の研究を強化する。
				3	AI（生成AI）等による競争的研究資金に関わる情報収集システムを構築する。
5	産学官連携研究活動の推進	1	産学官連携による研究活動を推進し、研究成果の社会還元を通じて地域社会及び医療・健康・福祉分野の発展に貢献する。	1	産学官連携の推進体制を整備し、学内外の研究マッチング機能の強化を図る。
				2	外部資金の多様な獲得機会の創出を推進する。
6	研究成果の社会実装	1	本学の研究成果の社会実装を推進し、産学連携を通じて社会課題の解決に貢献する。	1	産業界等との共創による連携事業を推進し、研究成果の実用化を促進する。
				2	知的財産の活用を推進し、大学発ベンチャーの創出を促進する。
				3	ステークホルダーとの連携ネットワークを構築・拡張し、共創による価値創出を推進する。

IV. 社会貢献

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	地域連携の推進	1	地域社会の地の拠点として課題解決に貢献する。	1	地域社会との連携による、地域課題の発見と課題解決に取り組む。
				2	地域連携活動の活動指標とアウトカム指標を策定する。
				3	学生や教職員が地域活動に主体的に関わる仕組みを構築する。
				4	地域ニーズに対応したりカレント教育を展開し、地域社会と連携した学びの機会の創出を推進する。
2	ちば産学官連携プラットフォーム事業の推進	1	ちば産学官連携プラットフォームを通じて、地域の高等教育の魅力向上と地域社会の持続的発展に貢献する。	1	千葉市内及び市原市内の高等教育機関との連携・協働により、教育・研究の質の向上を図る。
				2	千葉市内及び市原市内の学生募集力の向上に資する取り組みを推進する。
				3	千葉市内及び市原市内及び千葉県内企業への就職促進に向けた取り組みを強化する。
				4	千葉市及び市原市内の地域課題の把握と共有を通じて、教育・研究活動による課題解決を推進する。
				5	千葉市及び市原市内及び千葉県内企業との連携を強化し、地域の新たな課題への対応を推進する。

V. 運営組織

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	組織の強化	1	教育研究組織の最適化を図る。	1	社会のニーズ、学生動向を踏まえ、既存の教育研究組織の改組・改編を検討する。
		2	AI ALL INによる組織改革を図る。	1	AI（生成AI）を前提とした組織改革を行う。
		3	危機管理体制の強化を図る。	1	自然災害等の緊急事態の発生に備え、迅速かつ的確な対応を可能とするための体制整備を推進する。
				2	適切な情報セキュリティ体制を構築し、様々なリスク要因へ対応する。
		4	ガバナンスの強化を図る。	1	コンプライアンスを推進し、ガバナンス・コード及び内部統制システム整備の基本方針に則した大学運営を遂行する。
2	財務基盤の確立	1	安定的かつ持続可能な財務基盤を確立し、健全な収支バランスの維持を図る。	1	学生納付金収入の安定的確保に向け、広報活動及び学生募集施策の強化を推進する。
				2	基本金組入計画を遂行する。
3	SDの推進	1	教育研究の質の向上に資するため、教職員の専門性及び組織力の向上を図る。	1	ダイバーシティ及びインクルージョンに関するSDを推進する。
				2	DXリテラシー及びAI活用能力の向上に資するSDを推進する。

VI. 国際化

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	海外大学との交流	1	海外大学との連携を強化し、学生や教職員との交流を促進する。	1	海外大学との関係を再構築する。
				2	学生の海外留学意欲の向上を図る。
				3	新規提携先を開拓する。
2	外国人留学生支援の強化	1	外国人留学生の本学への満足度を向上させる。	1	国際交流環境を充実させる。
				2	系列の日本語学校との連携を強化し、一体的な支援体制を構築する。
				3	学内での交流活動を活発化する。
				4	AI（生成AI）等の新しいテクノロジーを活用する。

VII. 入試制度

小項目 (番号)	小項目 (内容)	目標 (番号)	目標 (内容)	計画 (番号)	計画 (内容)
1	適切な入学者選抜の実施	1	アドミッション・ポリシーに基づいた適切な学生募集の展開及び入学者選抜を実施する。	1	アドミッション・ポリシーに即した学生を受け入れることができるよう、選抜方法の妥当性を検証する。